

請 願 文 書 表

受理年月日	平成31年2月18日	請 願 者	近江八幡市北之庄町1138-2
受理番号	請願第1号		近江八幡生活と健康を守る会 会長 山口 憲士
請願件名	生活保護基準引き下げ中止を求める意見書の提出を求める請願		
請 願 要 旨	<p>【請願趣旨】</p> <p>日頃から、住民の暮らしと健康を守るためご尽力いただいていることに敬意を表します。</p> <p>生活保護基準が2018年10月1日から引き下げられました。さらに、19年、20年も引き下げられる予定です。生活保護費は、2013年に戦後最大規模の引き下げが行われ、15年まで連続で削減されています。</p> <p>その取り消しを求めて、全国29都道府県、1022人の生活保護利用者が、裁判で争っている最中、政府は、司法の判断を待たずして、再度、引き下げました。</p> <p>昨年10月からの引き下げに対して、不服審査請求に立ち上がった利用者は、約6,000人に上ります。</p> <p>生活保護の度重なる引き下げで、利用者は、食事や入浴の回数を減らしたり、交際費を捻出できず親類や友人との交流を絶ち孤立しています。ただ生きるだけの生活は、健康で文化的な生きがいのある生活とは程遠いものです。</p> <p>基準の引き下げは生活保護利用者だけの問題ではありません。住民税の非課税額や就学援助、保育料など国の47制度と連動して、影響を及ぼします。このように社会の土台が沈んでしまえば、国全体が沈んでしまいます。</p> <p>以上のことから、国および政府に対して、生活保護基準引き下げの中止を求める意見書を提出していただきますように請願いたします。</p> <p>【請願事項】</p> <p>1 国に対し、生活保護基準引き下げ中止の意見書を提出してください。</p>		
紹介議員	加藤 昌宏 川崎 益弘		